

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

**警告**

- ウォールは転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の施工業者による施工をお願いします。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、下記事項をお守りください。
・ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後ゆびが確認してください。
φ4ネジ：2.0N・m ± 0.5N・m (20±5kgf・cm)

**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように600mm以上離して施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事について>

注意

- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 指定基礎寸法は必ず守ってください。

ポイント

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

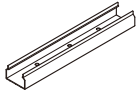
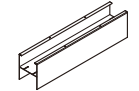
INDEX

1	梱包明細表	3
2	基本寸法と各部の名称	6
1.	各部の名称	6
2.	基本タイプの納まり	7
3.	フレームタイプの納まり	9
4.	水こう配	11
5.	配線工事	11
3	基礎施工前の準備	12
1.	基本タイプ	12
2.	フレームタイプ	16
4	ブロックの取付け	19
1.	ブロック取付け前の準備	19
2.	ブロックの組立て	20
5	笠木の取付け	22
1.	基本タイプ	22
2.	フレームタイプ	25
6	点検・仕上げ	28

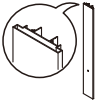
1 梱包明細表

本体用

【1】 枠材セット（基本タイプ・フレームタイプ）

名 称	略 図	員 数		
		H12	H15	H18
横枠		12	15	18
横枠 笠木連結用		1	1	1
横枠ベース		1	1	1
縦枠		36	45	54
【1-1】 φ4×13サラドリルネジ		50	62	74
【1-2】 φ4×13ナベドリルネジ		4	4	4
【1-3】 φ5×30ナベタッピンネジ3種		24	30	36

【2】 端柱セット（H12用）（基本タイプ・フレームタイプ）

名 称	略 図	員 数
柱 端部用（注意シールあり）		1
柱 端部用（注意シールなし）		1
アンカー棒		2
取扱説明書<UB014>	—	1
取付説明書<B092>	—	1

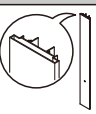
※ 【1-1】 は2本予備になります。

※ **オプション** サイン・ポストを取付ける場合は縦枠が余ります。
（有孔ブロックウォールフレーム・サイン・ポスト取付説明書〈B091〉参照）

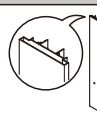
※ 【1-3】 ネジは必要に応じて使用してください。使用する必要がない場合は【1-3】ネジは余ります。

（4.ブロックの取付け「2-6ブロックの傾き調整」を参照）

【3】 端柱セット (H15用) (基本タイプ・フレームタイプ)

名 称	略 図	員 数
柱 端部用 (注意シールあり)		1
柱 端部用 (注意シールなし)		1
アンカー棒		2
取扱説明書<UB014>	—	1
取付説明書<B092>	—	1

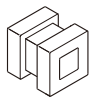
【4】 端柱セット (H18用) (基本タイプ・フレームタイプ)

名 称	略 図	員 数
柱 端部用 (注意シールあり)		1
柱 端部用 (注意シールなし)		1
アンカー棒		2
取扱説明書<UB014>	—	1
取付説明書<B092>	—	1

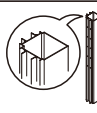
【5】 中間柱セット (基本タイプ・フレームタイプ)

名 称	略 図	員 数
柱 中間用		1

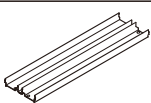
【6】 ブロックセット (基本タイプ・フレームタイプ)

名 称	略 図	員 数	
		1個入り	12個入り
有孔ブロック		1	12

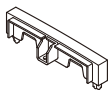
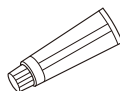
【7】 コーナーセット (基本タイプ)

名 称	略 図	員 数
柱 コーナー用		1
笠木キャップコーナー用 下		1
笠木キャップコーナー用 上		1
【7-1】 φ4×10トラスタッピンネジ2種		2

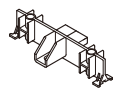
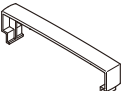
【8】 笠木セット (基本タイプ)

名 称	略 図	員 数			
		L1800	L4000	W05	W10
笠木		1	1	1	1
笠木ベース		1	1	1	1
【8-1】 φ4×15ナベタッピンネジ2種		10	20	4	6

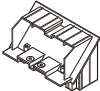
【9】 端部キャップセット (基本タイプ)

名 称	略 図	員 数
笠木キャップ 端部用		2
接着剤		1
【9-1】 φ4×10トラスタッピンネジ2種		2

【10】 笠木継手セット (基本タイプ)

名 称	略 図	員 数
笠木キャップ 中間用 下		1
笠木キャップ 中間用 上		1
【10-1】 φ4×10トラスタッピンネジ2種		2

【11】 フレーム笠木セット (フレームタイプ)

名 称	略 図	員 数		
		W05H15	W10H15	W20H15 連続施工・拡張フレーム
フレームコーナー連結部品		2	2	2
フレーム笠木 (両端斜めカット)		1	1	1
フレーム笠木ベース		1	1	1
【11-1】 $\phi 4 \times 15$ ナベタッピンネジ 2種 D=7 G=3		4	6	10

※ 【11-1】 ネジはW20拡張フレームの場合は2本余ります。

【12】 側面カバーセット (フレームタイプ)

名 称	略 図	員 数
フレーム側面カバー		1
端柱連結部材		1
【12-1】 $\phi 4 \times 8$ トラストタッピンネジ 3種 D=8		8

【13】 拡張フレーム用柱 (フレームタイプ)

名 称	略 図	員 数
拡張柱		1
【13-1】 $\phi 4 \times 12$ サラタッピンネジ 1種 D=6		2

【14】 側面インターホン仕様 (フレームタイプ)

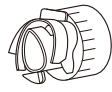
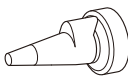
名 称	略 図	員 数
フレーム側面インターホンカバー		1
端柱連結部材		1
GLカバー		1
インターホンカバー		1
インターホン裏板		1
【14-1】 M4 $\times$ 35 六角ボルト		2
【14-2】 M4 用六角ナット 2種		2
【14-3】 $\phi 4 \times 8$ トラストタッピンネジ 3種 D=8		8

施工部材

【15】 大形建材用弾性接着剤

名 称	略 図	員 数
大形建材用弾性接着剤 (EGR-B)		1

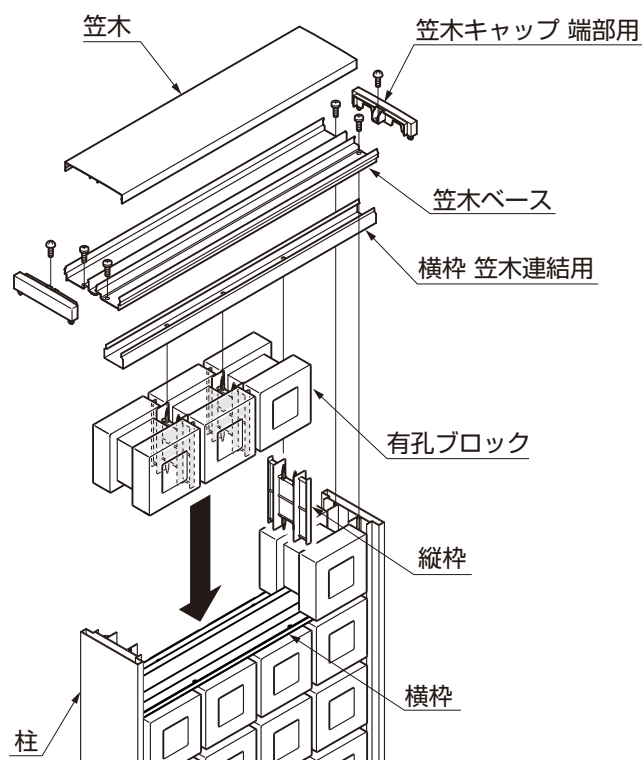
【16】 接着剤用アダプターノズルセット

名 称	略 図	員 数
クリーンアダプタ		1
クリーンノズル		2
クリーンホルダー		1

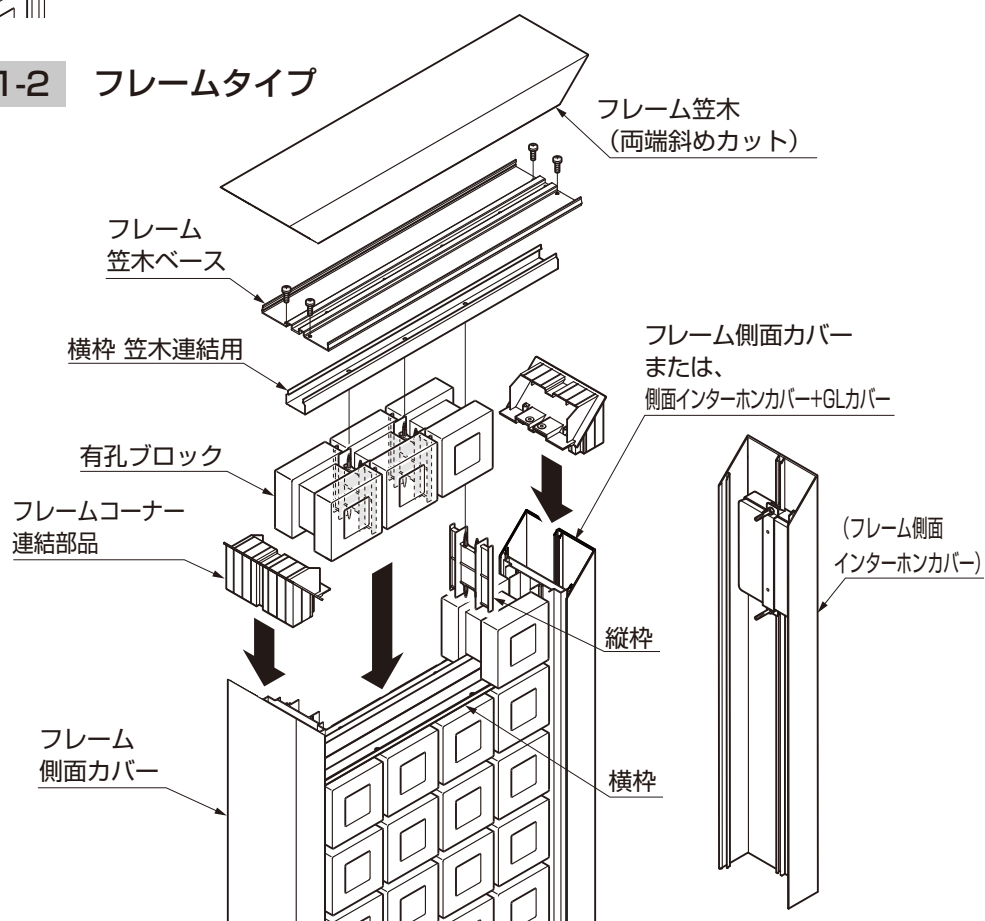
2 基本寸法と各部の名称

1. 各部の名称

1-1 基本タイプ

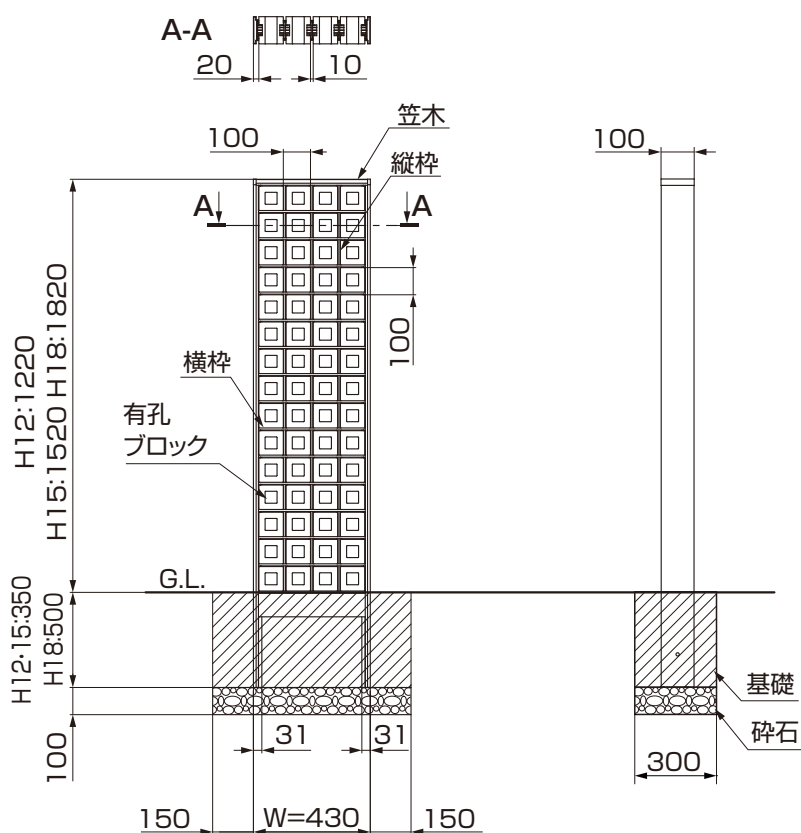


1-2 フレームタイプ

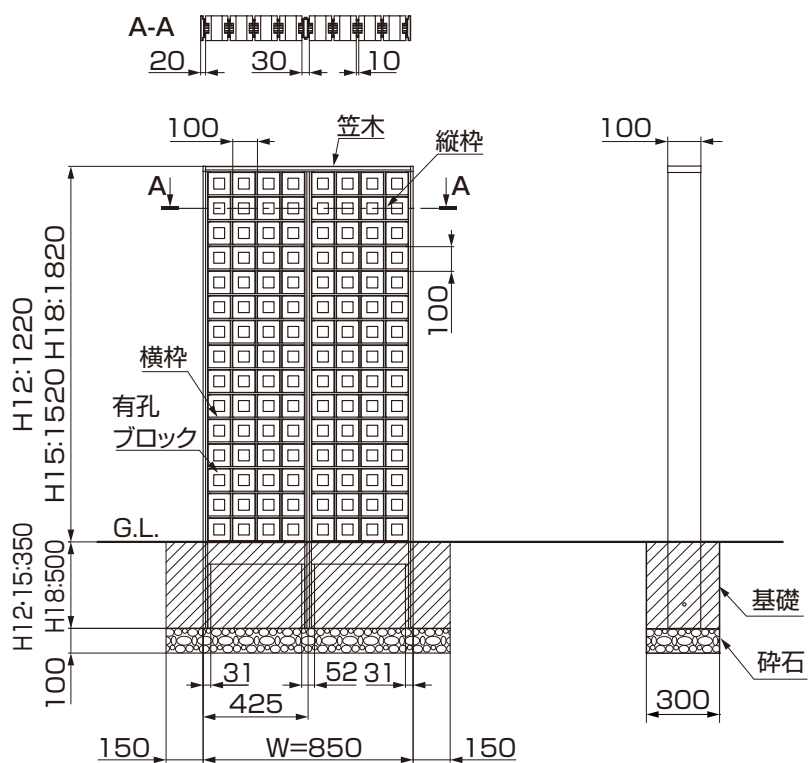


2. 基本タイプの納まり

2-1 W05



2-2 W10

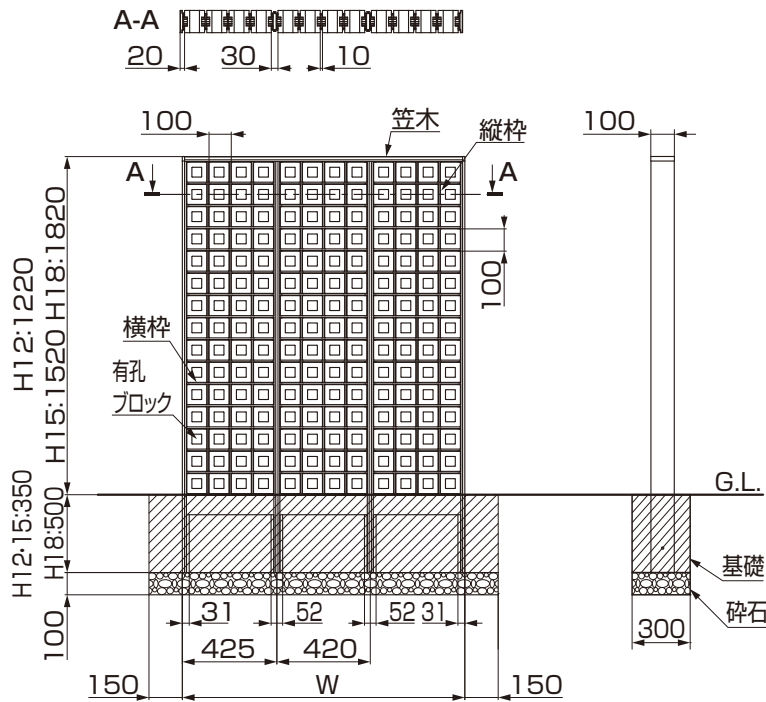


2. (つづき)

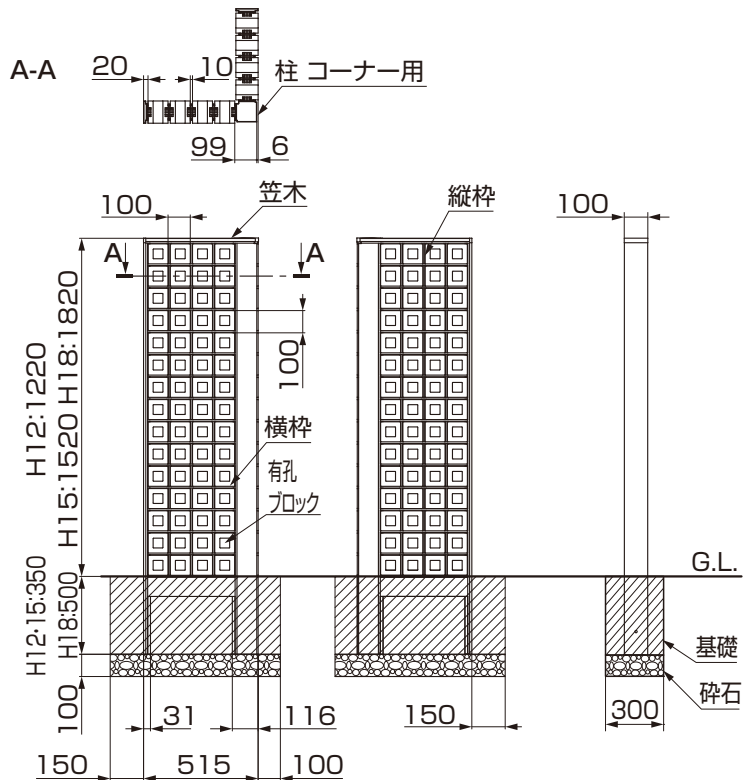
2-3 連続施工

ポイント

- $W=420 \times \text{スパン} + 10$
- 1スパンはW05サイズとなります。W10は2スパンとなります。

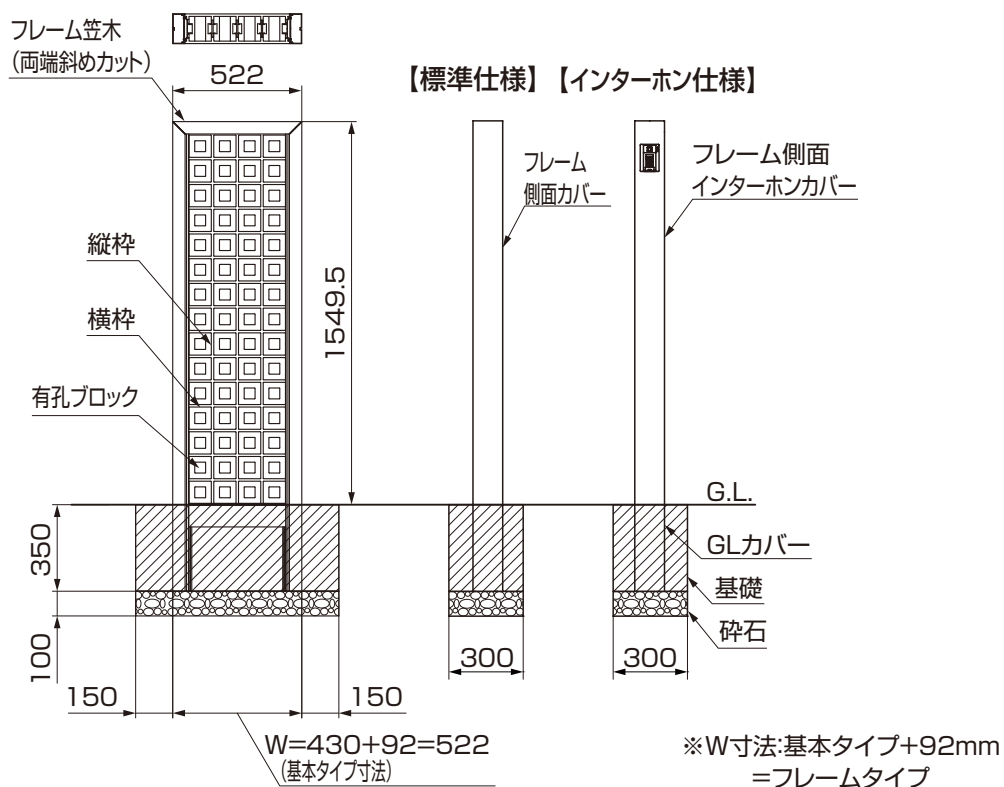


2-4 コーナー納まり ※図はW05の場合を示します。

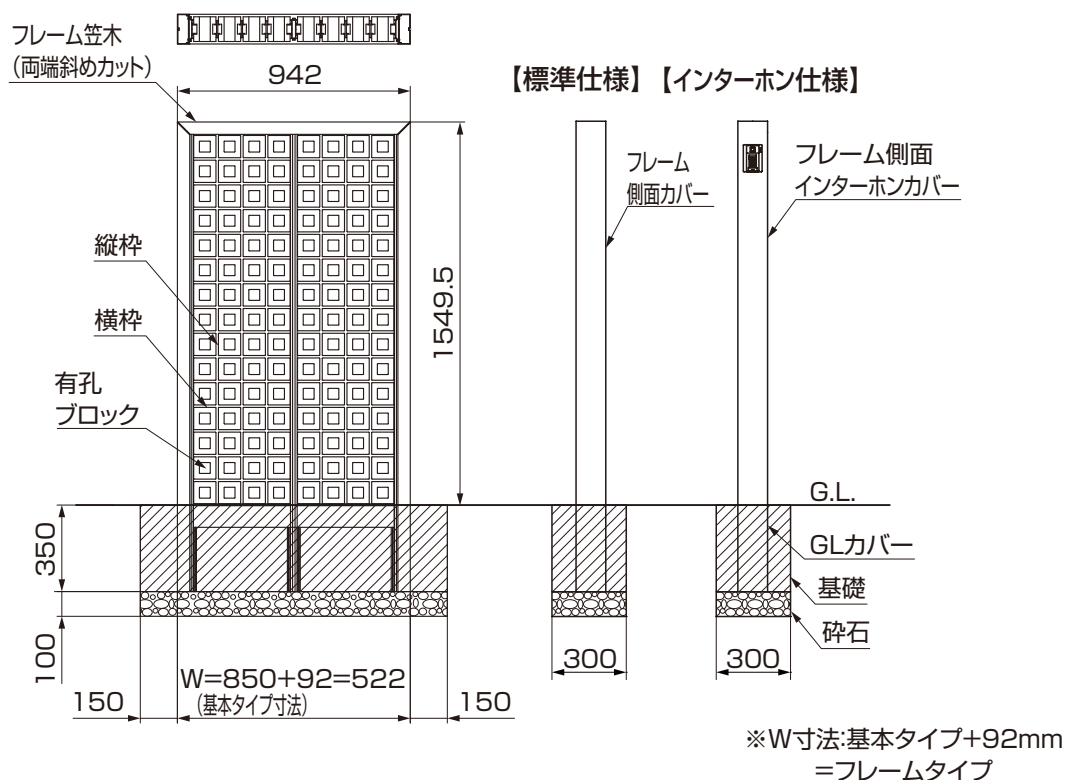


3. フレームタイプの納まり

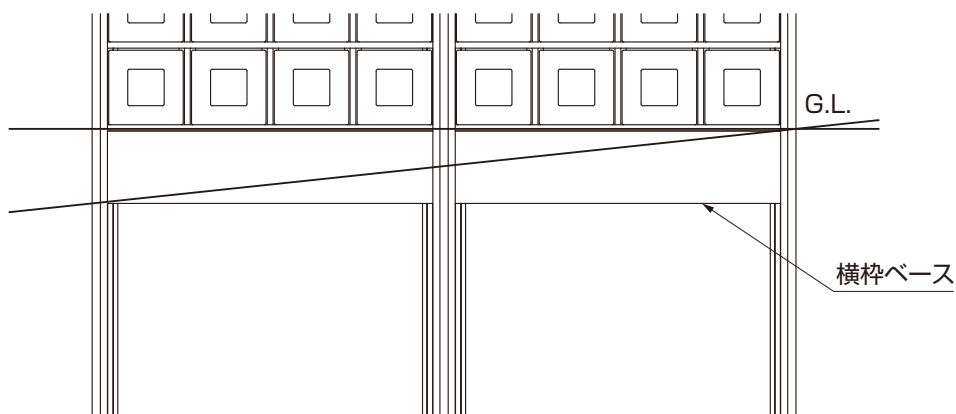
3-1 W05



3-2 W10



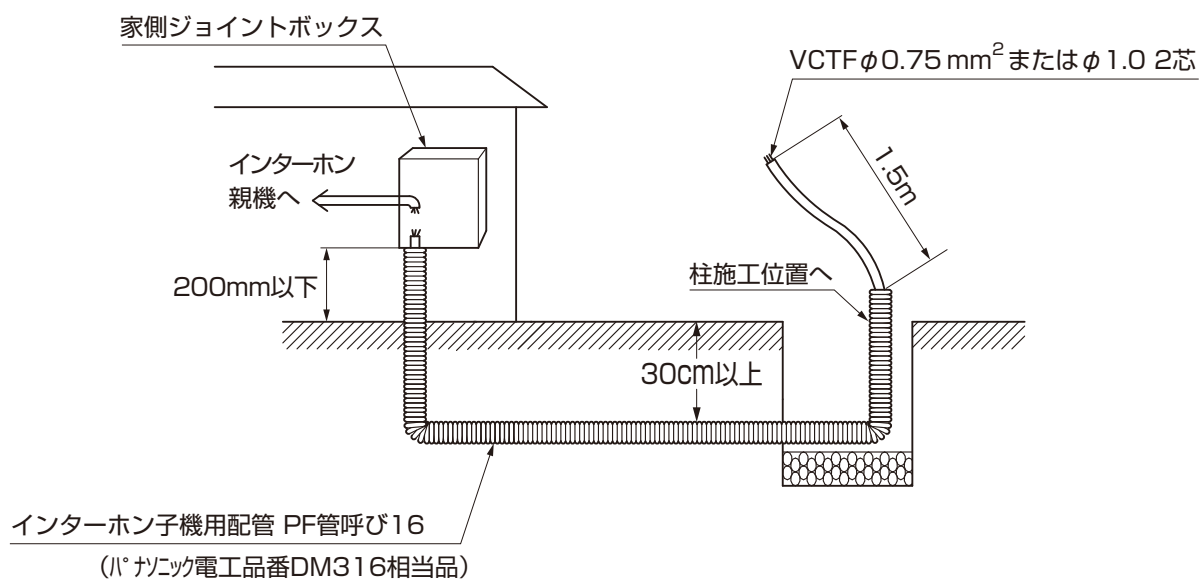
4. 水こう配



ポイント

- 水こう配は横枠ベースの範囲で施工してください。

5. 配線工事（インターホン仕様の場合）



ポイント

- ①基礎穴を掘り、碎石を敷いてください。
- ②インターホン子機用の配線配管をしてください。

- 配管はG.L.よりも200mm程度立上げ、パテ埋めなどでの処理を施してください。

3 基礎施工前の準備

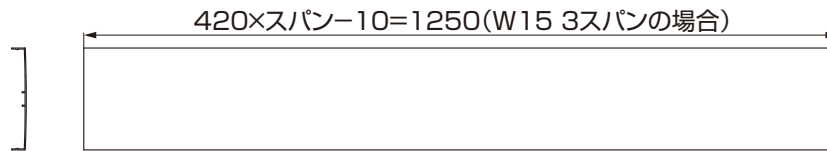
1. 基本タイプ

1-1 笠木の加工

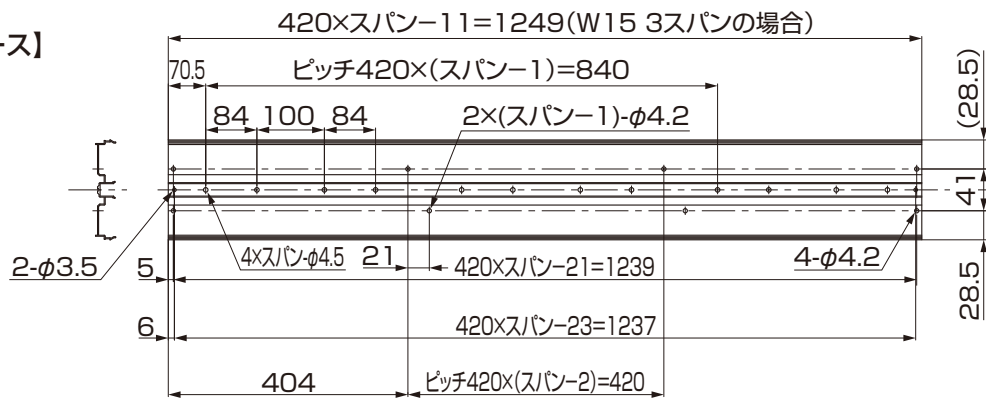
(1) 連続納まりの場合 (W15~W45)

W05・W10の笠木を使用しない場合 ※図はW15 3スパンの場合です。

【笠木】

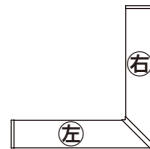


【笠木ベース】



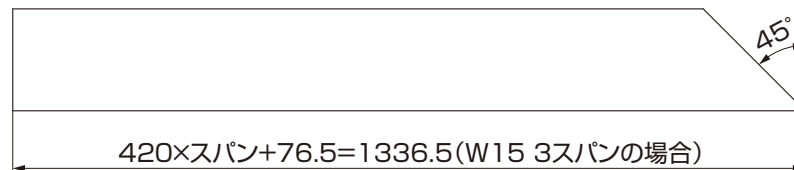
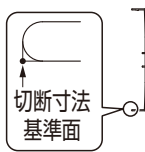
① 笠木、笠木ベースを加工してください。

(2) コーナー納まりの場合

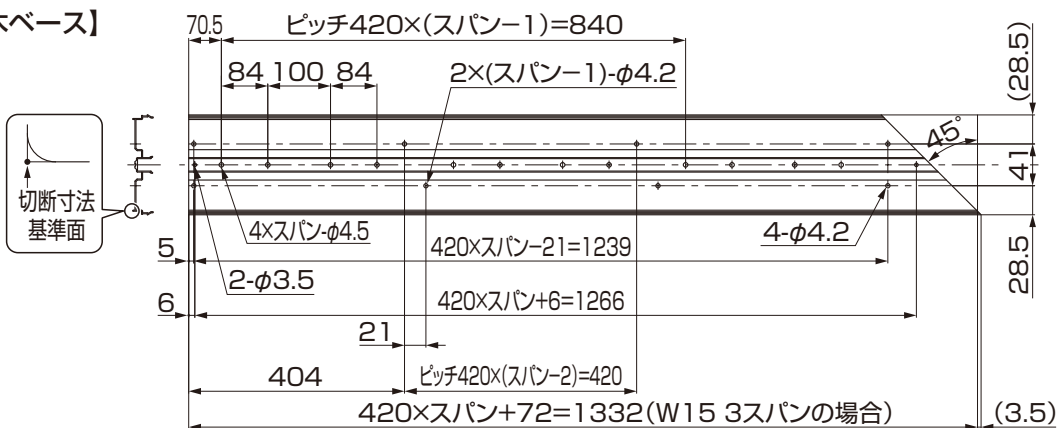


※図はW15 3スパンの場合です。
※本図は左側を示し、右側は本図に対称です。

【笠木】

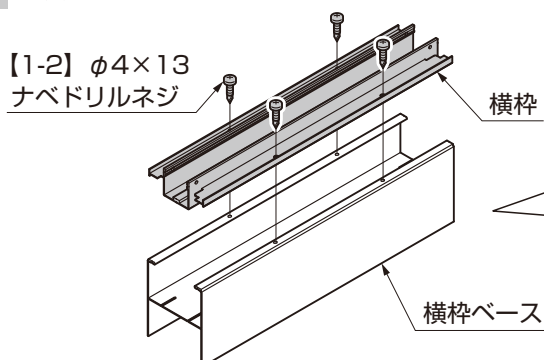


【笠木ベース】



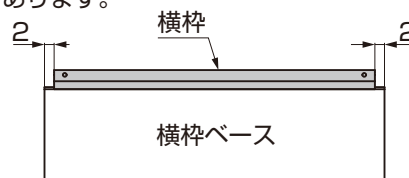
① 笠木、笠木ベースを加工してください。

1-2 横枓ベースの組立て



ポイント

●横枓と横枓ベースには、2mmの段差があります。



①横枓を横枓ベースに【1-2】で取付けてください。

1-3 横枓と柱の組立て

(1) 標準納まりの場合

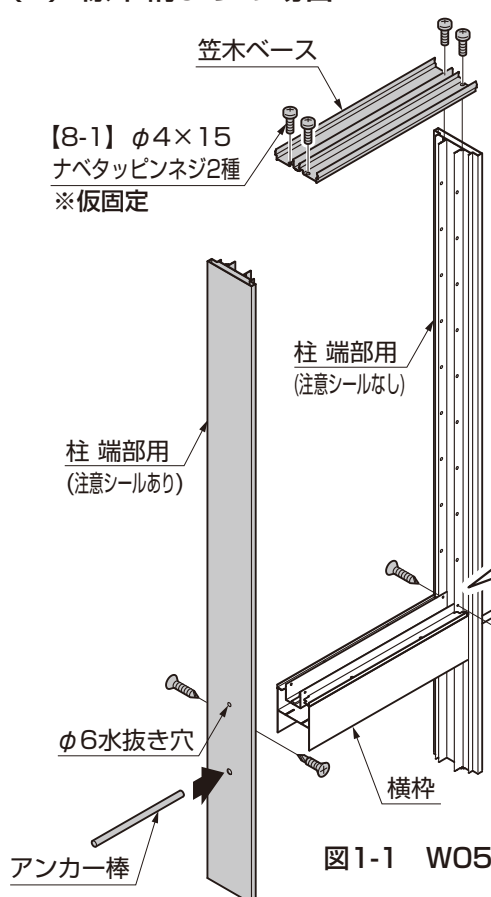


図1-1 W05

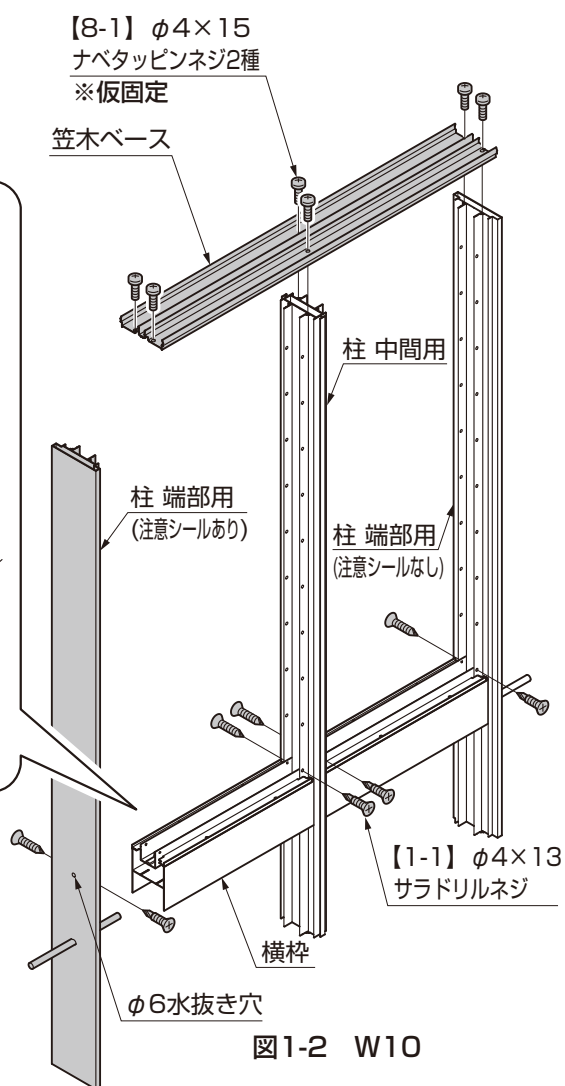
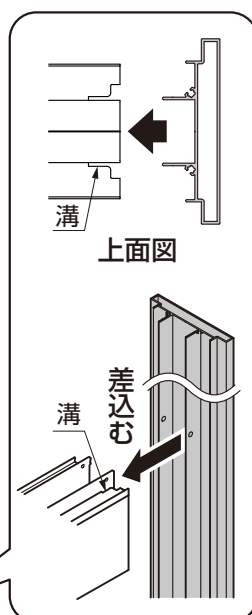
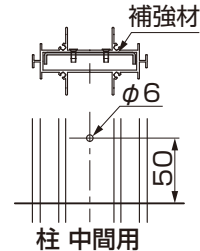
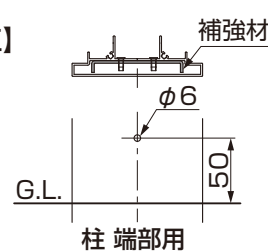


図1-2 W10

ポイント

【水抜き穴加工】

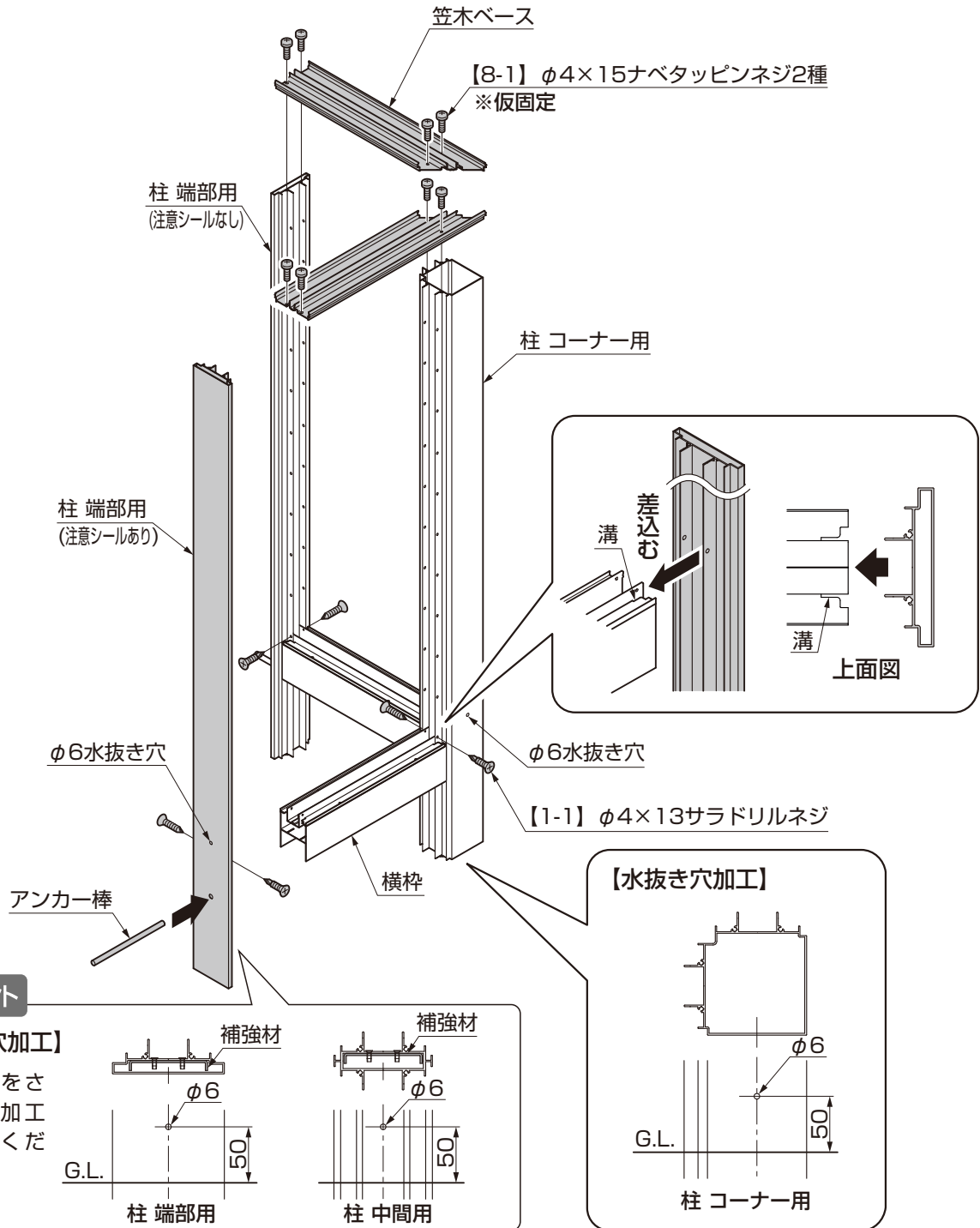
●補強材をさけて穴加工をしてください。



- ①柱にφ6の水抜き穴加工をしてください。
- ②柱 端部用にアンカー棒を取付けてください。
- ③柱 端部用 (または中間用) を横枓の溝に差込み、【1-1】で固定してください。
- ④笠木ベースを柱に【8-1】で仮固定してください。

1. (つづき)

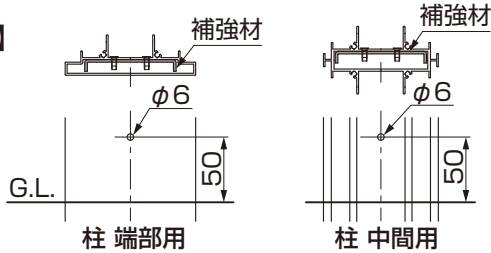
(2) コーナー納まりの場合



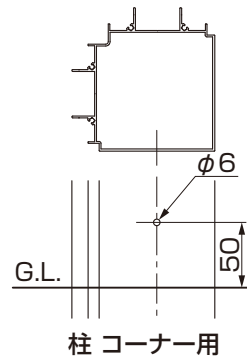
ポイント

【水抜き穴加工】

- 補強材をさけて穴加工をしてください。



【水抜き穴加工】



- ① 柱にφ6の水抜き穴加工をしてください。
- ② 柱 端部用にアンカー棒を取付けてください。
- ③ 柱 端部用 (またはコーナー用) を横杵の溝に差込み【1-1】で固定してください。
- ④ 笠木ベースを柱に【8-1】で仮固定してください。

1-4 基礎工事

ポイント

- 基礎の打設は作業スペースを十分考慮して打設してください。
- 1スパンはW05サイズとなります。W10は2スパンとなります。

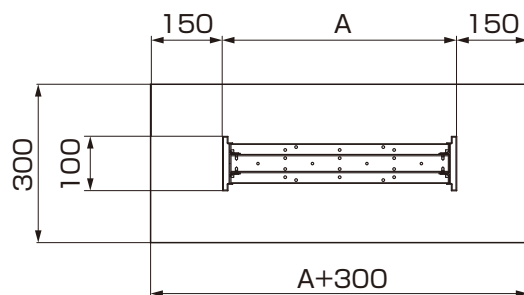


図1-3 基本タイプの納まり

表1-1

サイズ	A
W05	430
W10	850
連続	420×スパン+10

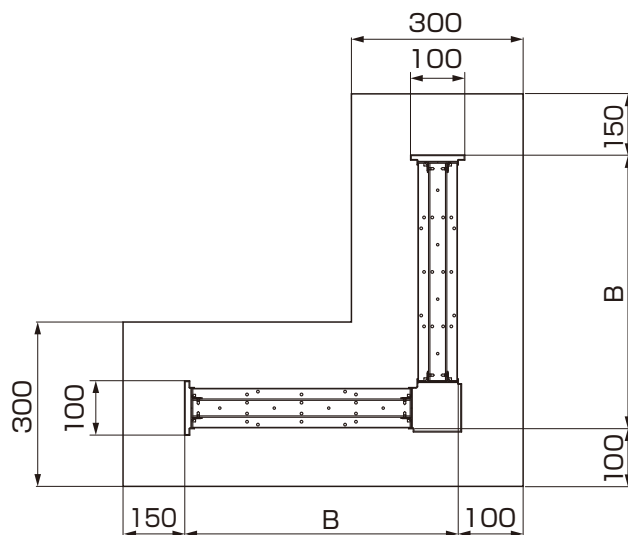


図1-4 基本タイプのコーナー仕様納まり

表1-2

サイズ	B
W05	515
W10	935
連続	420×スパン+95

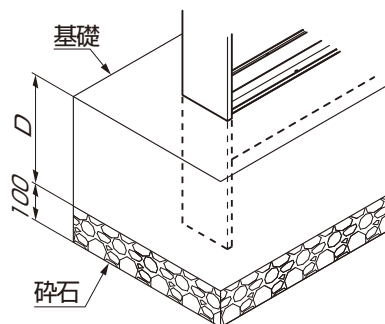


図1-5 基礎深さ

表1-3

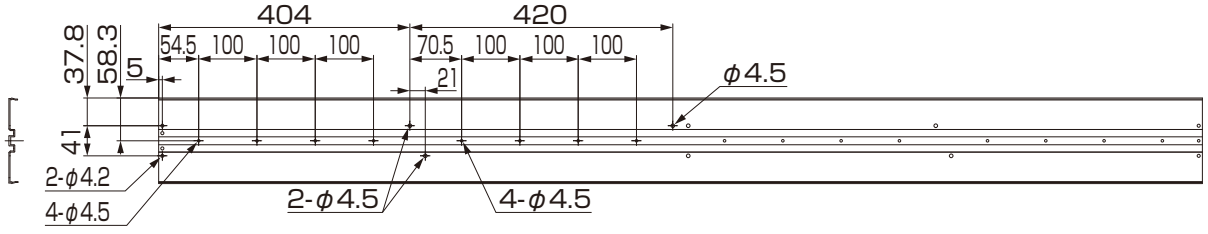
サイズ	D
H12	350
H15	350
H18	500

- ①基礎を掘り、砕石を敷いてください。
- ②枠を基礎に建込み、基礎を打設してください。

2. フレームタイプ

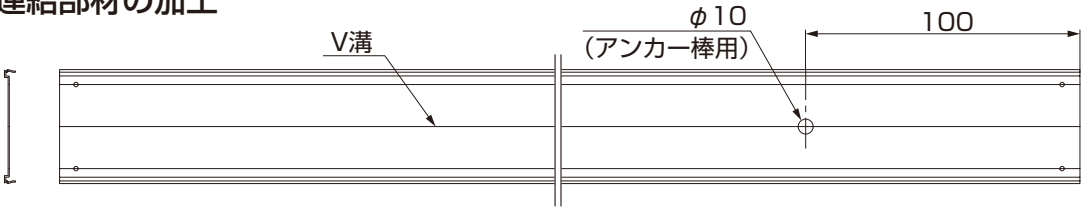
2-1 部材の加工

(1) フレーム笠木ベース ※W20の連続施工の場合



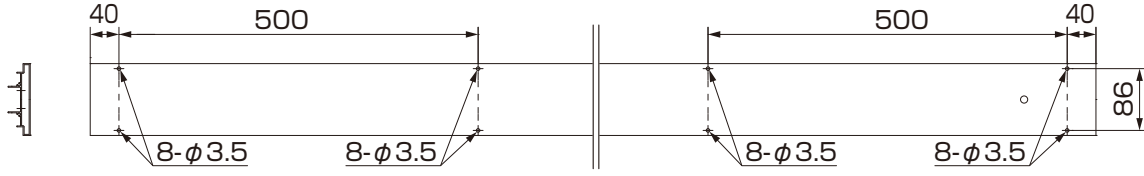
①フレーム笠木ベースを加工してください。

(2) 端柱連結部材の加工



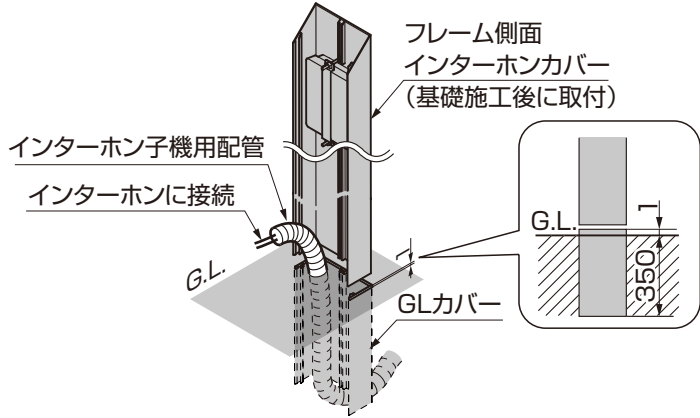
①端部連結部材にφ10の穴加工を行ってください。

(3) 端柱の下穴加工



①柱端部用に端柱連結部材を合わせてφ3.5の下穴加工をしてください。

2-2 インターホン仕様の場合の加工

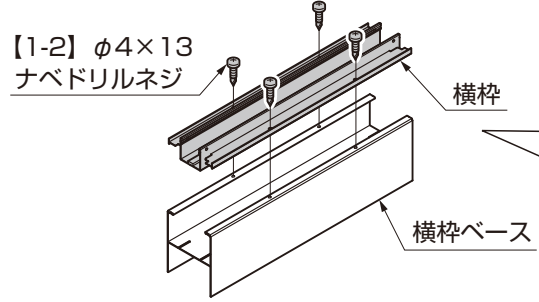


ポイント

【インターホンを取付ける場合】

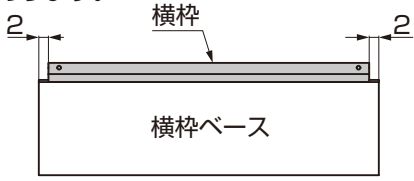
- インターホンカバーは左右どちらにでも取付けることが可能です。
- 施工後にフレーム側面インターホンカバーが取外せるように、基礎に埋め込むGLカバーとフレーム側面インターホンカバーは分離しています。

2-3 横枠ベースの組立て



ポイント

- 横枠と横枠ベースには、2mmの段差があります。

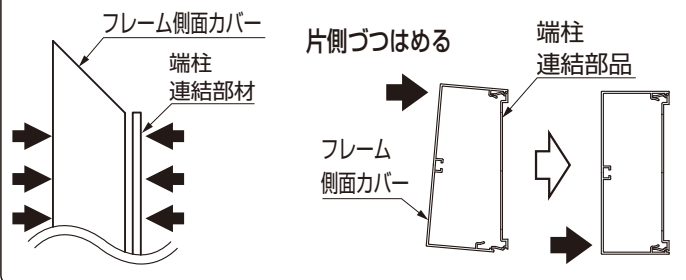


①横枠を横枠ベースに【1-2】で取付けてください。

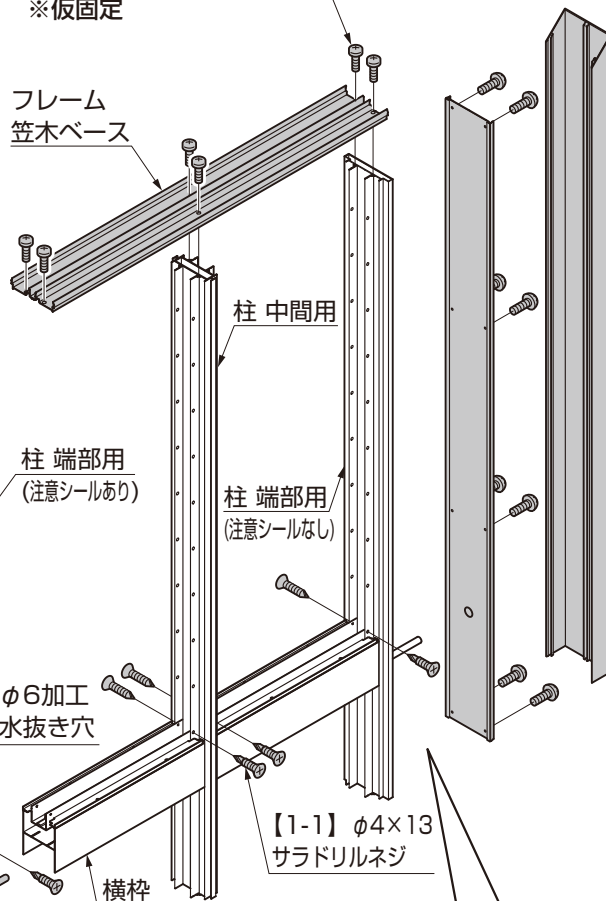
2-4 横枠と柱の組立て

ポイント

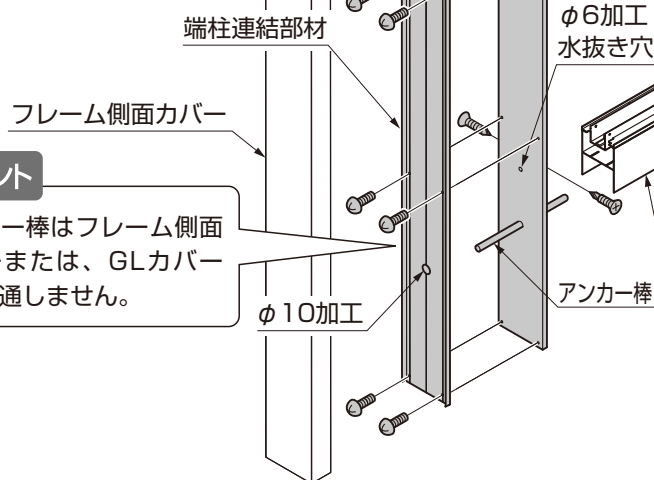
- フレーム側面カバーとフレーム笠木は片側づつパチンというまでまんべんなくはめ込んでください。



【11-1】 $\phi 4 \times 15$ ナベ
タッピンネジ2種 D=7 G=3
※仮固定

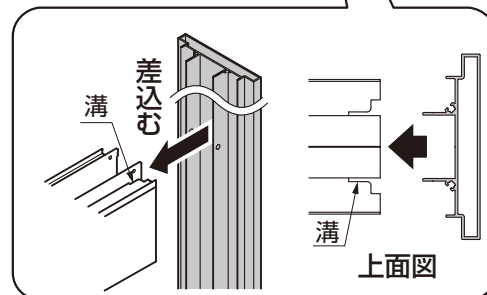


【12-1】または【14-3】
 $\phi 4 \times 8$ トラスタッピンネジ3種 D=8



ポイント

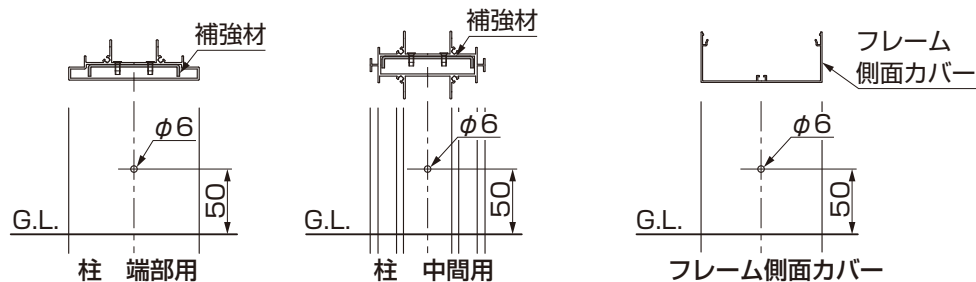
- アンカー棒はフレーム側面カバーまたは、GLカバーには貫通しません。



ポイント

【水抜き穴加工】

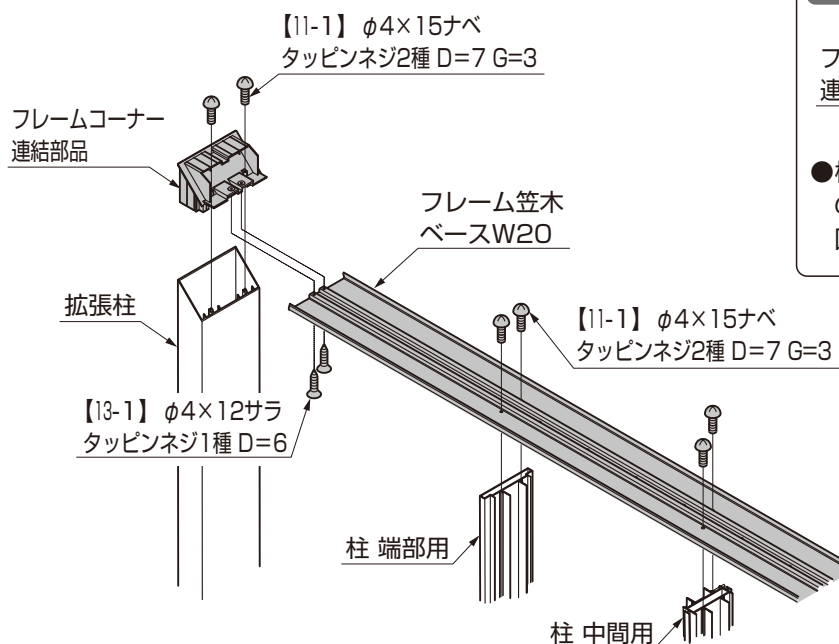
- 補強材をさけて穴加工をしてください。



- ①端柱連結部材を柱端部用に【12-1】または【14-3】で取付けてください。
- ②フレーム側面カバーまたはGLカバーとフレーム側面インターホンカバーを端柱連結部材に組付けてください。

2. (つづき)

2-5 拡張仕様の場合



補足

フレームコーナー
連結部品

●梱包状態では、フレームコーナー連結部品の組付け方向が異なる場合があります。
図を参考に組付け方向を確認してください。

- ①フレームコーナー連結部品をフレーム笠木ベースに【13-1】で取付けてください。
- ②フレームコーナー連結部品を拡張柱に【11-1】で取付けてください。
- ③フレーム笠木ベースを縦枠に【11-1】で取付けてください。

2-6 基礎工事

ポイント

- 基礎の打設は作業スペースを十分考慮して打設してください。
- 1スパンはW05サイズとなります。W10は2スパンとなります。

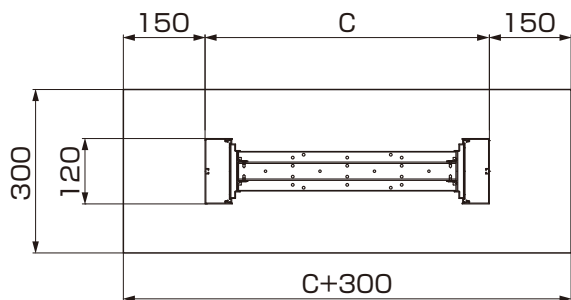


図2-1 フレームタイプの納まり

表2-1

サイズ	C
W05	522
W10	942
W20	1782

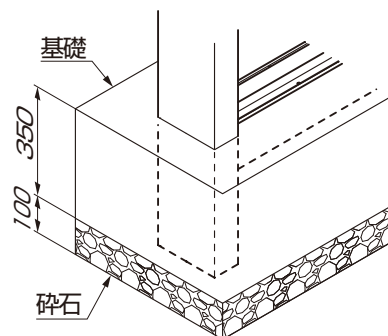


図2-3 基礎深さ

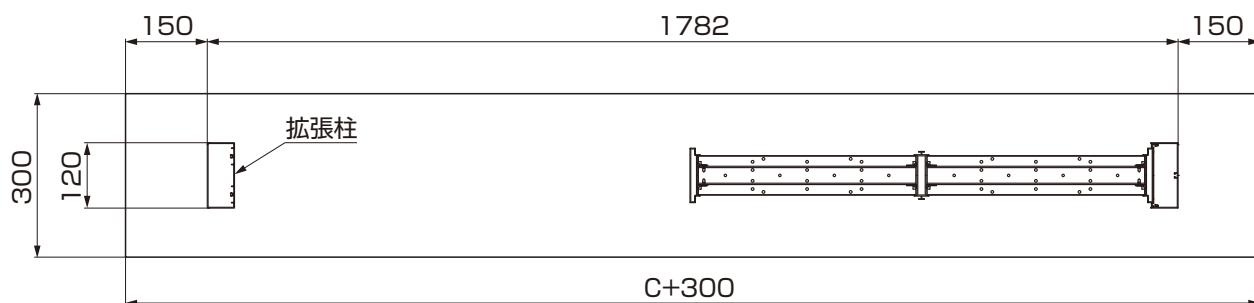


図2-2 拡張仕様納まり (W20)

- ①基礎を掘り、砕石を敷いてください。
- ②枠を基礎に建込み、基礎を打設してください。

4 ブロックの取付け

※本項目は「基本タイプ」「フレームタイプ」共通の手順になります。

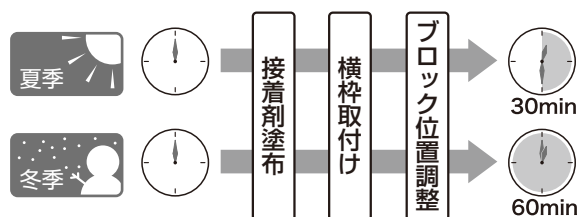
1. ブロック取付け前の準備

1-1 作業時間の確認

ポイント

【作業時間の確認】

- 指定の時間内に作業を行なってください。
- 作業時間は、環境条件により変動する場合があります。
- 冬季の作業は5℃以上で行なうようにしてください。5℃を下回る環境では接着剤の硬化が遅くなります。



- 接着剤の貼付け可能時間（夏季約30分・冬季約60分）を超えて作業の中断をする場合は、ノズルを清掃または交換してから新しい接着剤を使用してください。
- 接着剤を開封し、長時間作業を中断した場合、品質通りの接着効果が得られない場合があります。

1-2 接着剤の準備

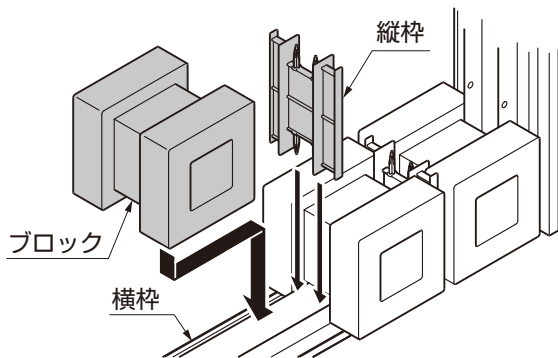
-
- ①ノズルの先端をカットし、アダプタに差込んでください。
 - ②アダプタ前方下部の突起がコーキングガンの前にはめてください。
 - ③Aのプレートを前方斜め下方向に押して、固定してください。
 - ④フィルムパックをホルダーに入れてください。
 - ⑤フィルムパックの先端をカットしてください。
 - ⑥ホルダーをアダプタの後部に差し込んでください。

2. ブロックの組立て

2-1 ブロックの設置

ポイント

- 有孔ブロックウォールにサイン・ポストを取付ける場合は「有孔ブロックウォールサイン・ポスト取付説明書（B091）」を参照してください。



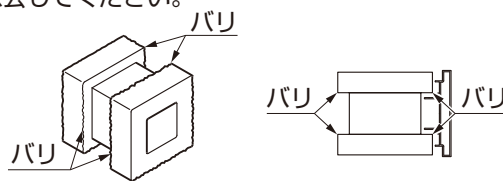
- ①縦枠のピンを横枠の穴に差込んでください。
- ②ブロックを横枠の上に置いてください。

注意

- ブロックのバリは鋭利になっていることがありますので、取扱う際には手袋等の保護具を着用してください。

ポイント

- ブロックのバリが枠に干渉する場合、金ヤスリなどで除去してください。

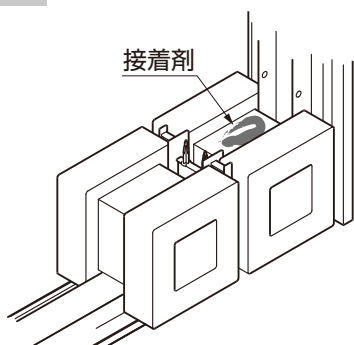


2-2 接着剤塗布

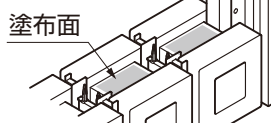
ポイント

- 接着剤塗布面にゴミやホコリがないことを確認してください。

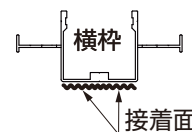
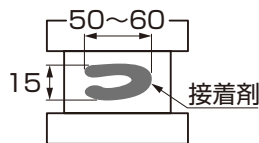
- 接着剤はビード状に $\phi 7$ 程度の太さで塗布してください。



- ①接着剤をブロックに塗布してください。

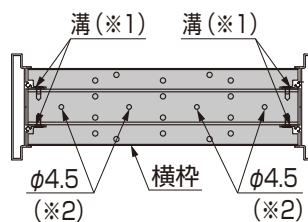


- ノズルの開口面を塗布面に密着させながら接着剤を塗布してください。



2-3 横枠の取付け

ポイント



【1-1】 $\phi 4 \times 13$ サラドリルネジ

- ①横枠の溝(※1)を柱に差込んで回転させ、横枠の穴を縦枠のピンに差込んでください。
- ②横枠を柱に【1-1】で固定してください。

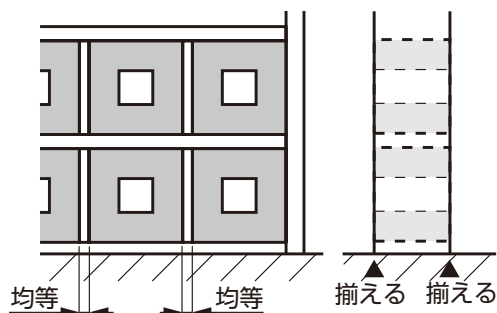
ポイント

- ブロックを積み上げ、横枠が差込めなくなったら、仮固定した笠木ベースまたはフレーム笠木ベースを外してください。

ポイント

- ブロックは焼き物ですので、形状が安定しない場合があります。傾いて見えるブロックの場合は 2-6 ブロックの傾きの調整方法の【1-3】ネジを $\phi 4.5$ の穴(※2)に使用して調整してください。

2-4 ブロックの位置調整

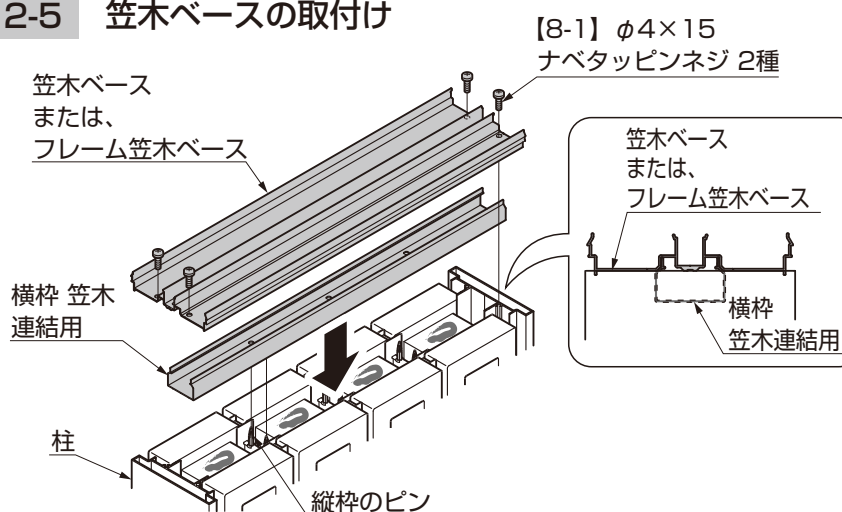


①ブロックの位置調整をしてください。

ポイント

●接着剤の作業時間 1-1 の時間範囲でブロックの位置を調整してください。

2-5 笠木ベースの取付け



【8-1】φ4×15
ナベタッピンネジ 2種

- ①横枓 笠木連結用の穴を縦枓のピンに差込んでください。
- ②笠木ベースまたは、フレーム笠木ベースを横枓 笠木連結用に差込み、柱に【8-1】で取付けてください。

ポイント

●笠木キャップコーナー用と笠木キャップ中間用の取付けは、P.23、P.24を参照してください。

2-6 ブロックの傾き調整（ブロックの形状が安定していない場合）

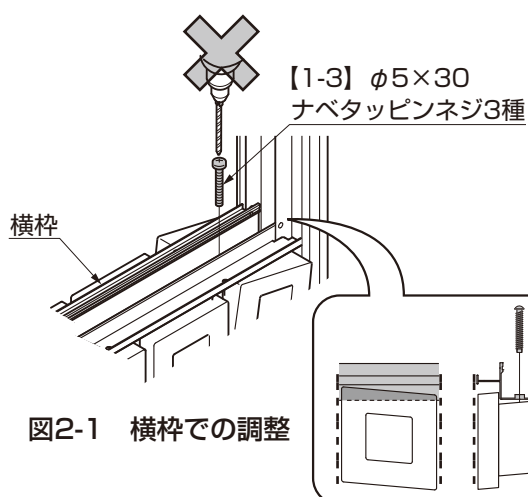


図2-1 横枓での調整

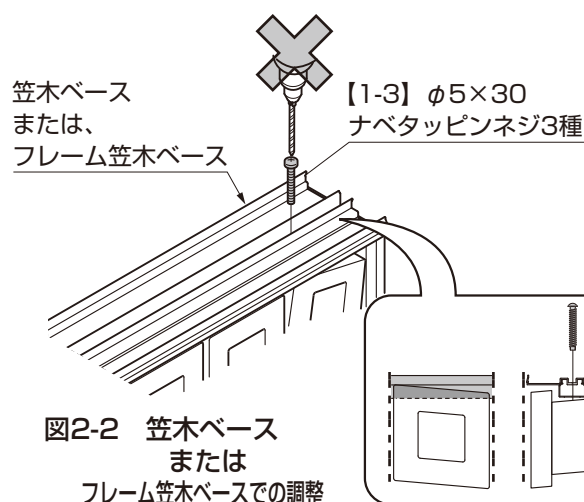


図2-2 笠木ベース
または
フレーム笠木ベースでの調整

- ①【1-3】でブロックのガタがなくなる程度に締めてください。

ポイント

- ブロックは焼き物ですので、形状が安定しない場合があります。傾いて見えるブロックの場合は【1-3】ネジを使用して調整してください。
- 【1-3】はブロックを固定するためのネジです。ブロックが動かなくなったら締付けをやめてください。
- 固定の際、電動工具を使用しないでください。【1-3】を締めすぎると、横枓が浮き上がり変形する可能性があります。
[推奨トルク] 2.0N・m±0.5N・m (20±5kgf・cm)

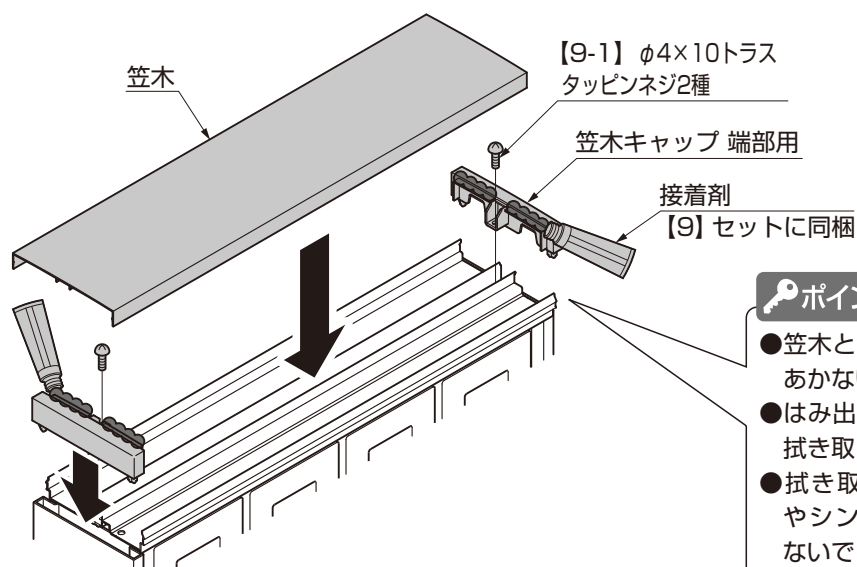
5 笠木の取付け

1. 基本タイプ

1-1 笠木の取付け

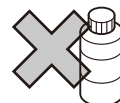
ポイント

- 笠木キャップコーナー用と笠木キャップ 中間用の取付けは、P.23、P.24を参照してください。



ポイント

- 笠木と笠木キャップの間にすき間があかないようにはめてください。
- はみ出した接着剤はエタノール等で拭き取ってください。
- 拭き取りにアセトンやシンナーは使用しないでください。



アセトン・シンナー

- ①笠木キャップ 端部用を笠木ベースに【9-1】で取付けてください。
- ②笠木キャップ 端部用に接着剤を塗布してください。
- ③笠木を笠木ベースにはめてください。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

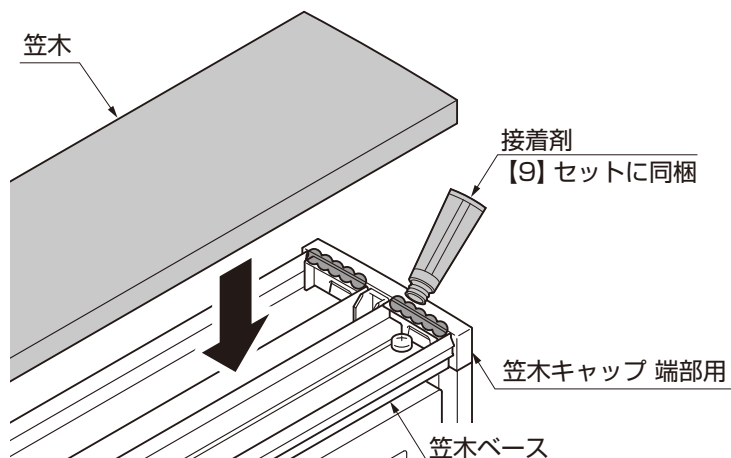
.....

.....

.....

1-2 フレームレスの笠木キャップの取付け ※笠木キャップコーナー用、笠木キャップ 中間用の取付け

(1) 笠木キャップ 端部用の接着

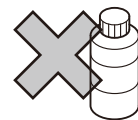


①笠木キャップ 端部用に接着剤を塗布してください。

②笠木を笠木ベースにはめてください。

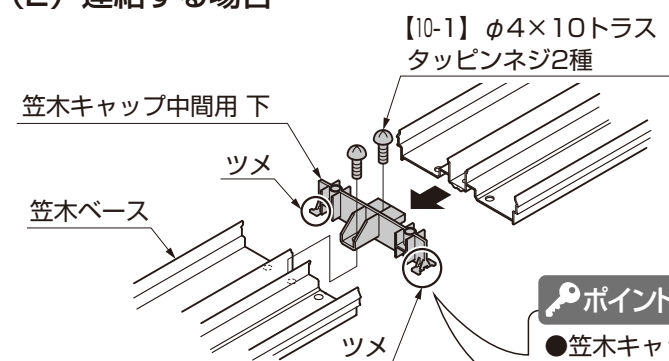
ポイント

- 笠木と笠木キャップの間にすき間があかないようにはめてください。
- はみ出した接着剤はエタノール等で拭き取ってください。
- 拭き取りにアセトンやシンナーは使用しないでください。



アセトン・シンナー

(2) 連結する場合

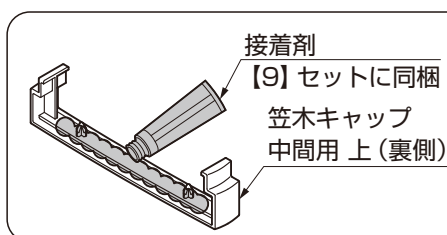
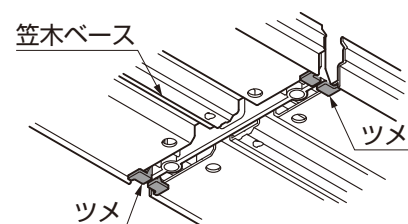


ポイント

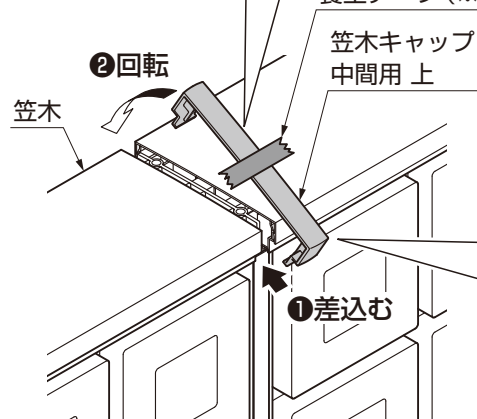
- 笠木キャップ 下のツメが笠木ベースの下にくるように差込んでください。キャップが浮いたまま固定すると、キャップが破損する場合があります。

①「1-1 笠木の取付け」を参照し、同様の施工を行なってください。

②笠木キャップ 下を笠木ベースに差込み、【10-1】で固定してください。

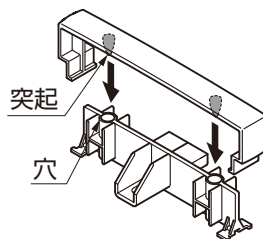


養生テープ(※1)



ポイント

- 笠木キャップ 上の突起を笠木キャップ 下の穴にはめ込んでください。



③笠木キャップ中間用 上に接着剤を塗布してください。

④笠木キャップ中間用 上を笠木に差込み、回転させて取付けてください。

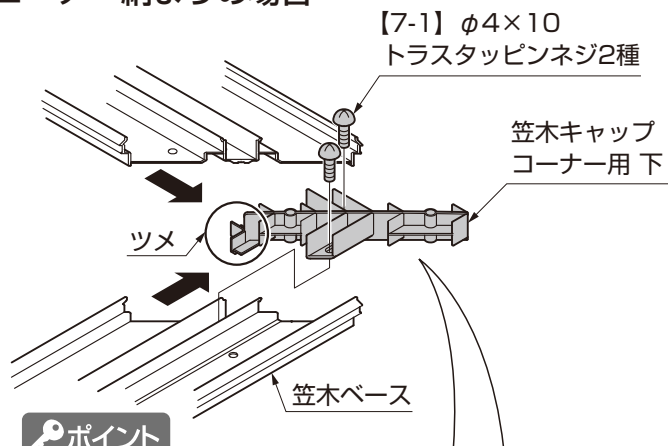
⑤キャップが固定されるまで養生テープ(※1)で固定してください。

⑥キャップの固定を確認後、養生テープを除去してください。

1. (つづき)

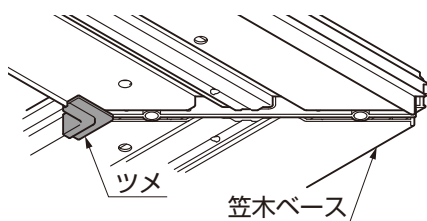
1-2 つづき

(3) コーナー納まりの場合

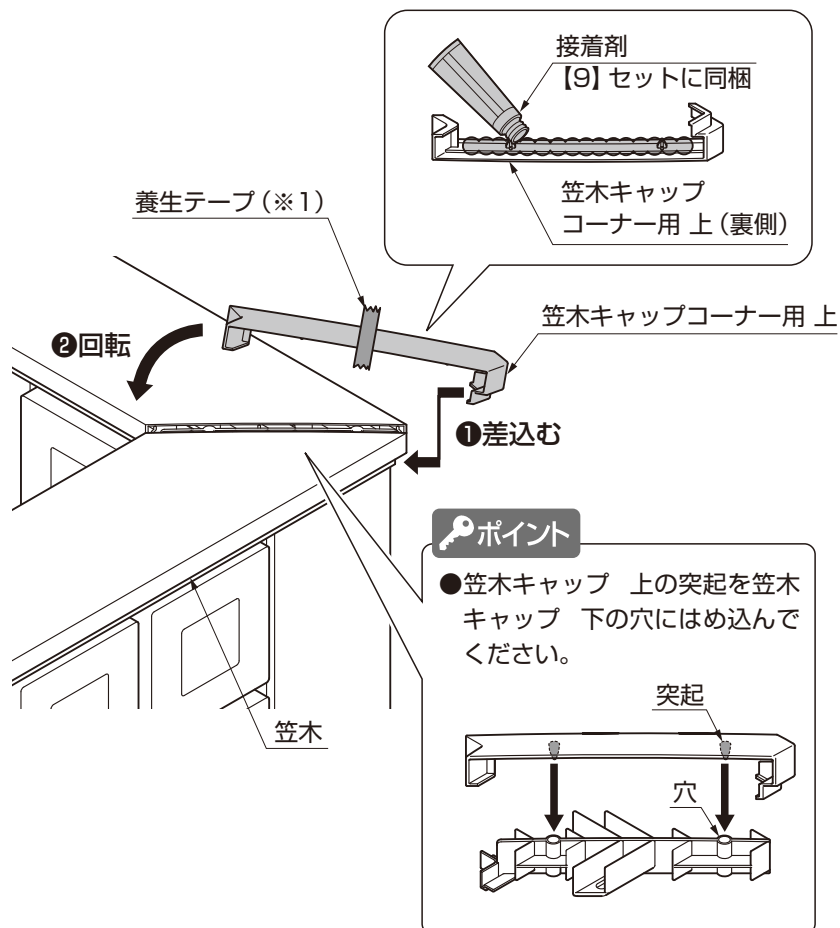


ポイント

- 笠木キャップ 下のツメが笠木ベースの下にくるように差込んでください。キャップが浮いたまま固定すると、キャップが破損する場合があります。

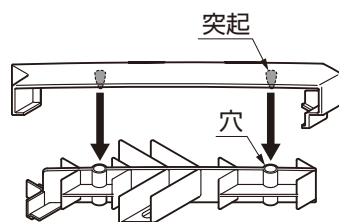


- ① 笠木キャップコーナー用 下を笠木ベースに差込み、【7-1】で固定してください。



ポイント

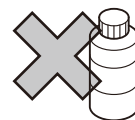
- 笠木キャップ 上の突起を笠木キャップ 下の穴にはめ込んでください。



- ② 「1-1 笠木の取付け」を参照し、同様の施工を行ってください。
- ③ 笠木キャップコーナー用 上に接着剤を塗布してください。
- ④ 笠木キャップコーナー用 上を笠木に差込み、回転させて取付けてください。

ポイント

- 笠木と笠木キャップの間にすき間があかないようにはめてください。
- はみ出した接着剤はエタノール等で拭き取ってください。
- 拭き取りにアセトンやシンナーは使用しないでください。

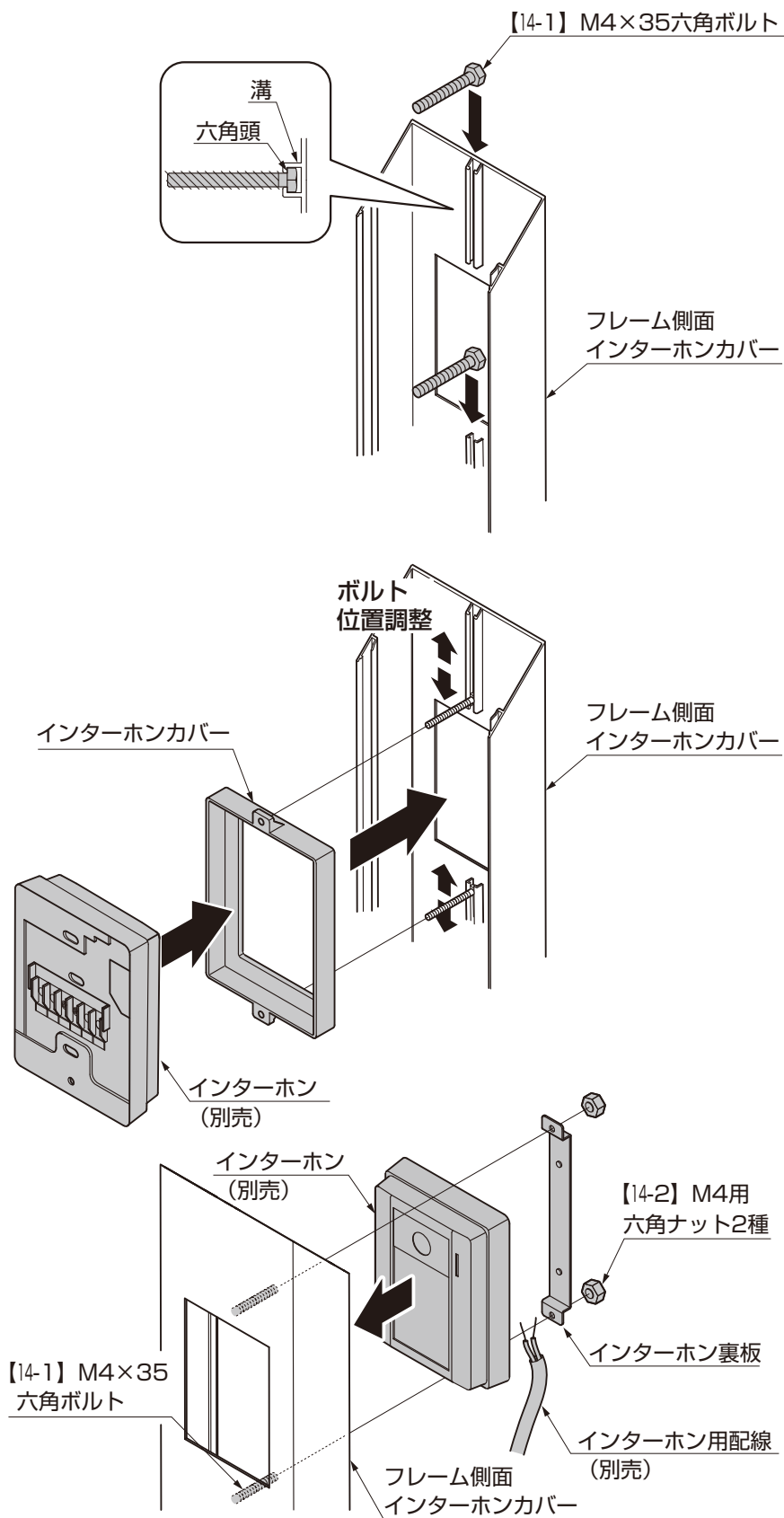


アセトン・シンナー

- ⑤ キャップが固定されるまで養生テープ(※1)で固定してください。
- ⑥ キャップの固定を確認後、養生テープを除去してください。

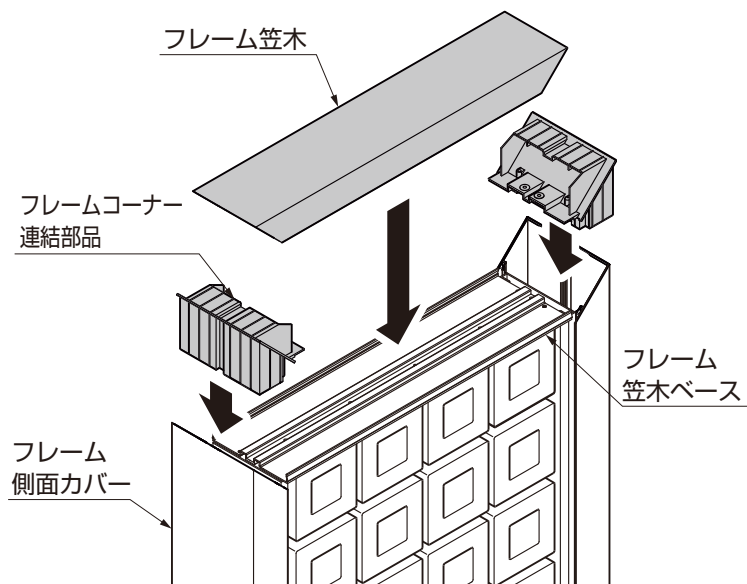
2. フレームタイプ

2-1 インターホンの取付け（フレームインターホン仕様の場合）

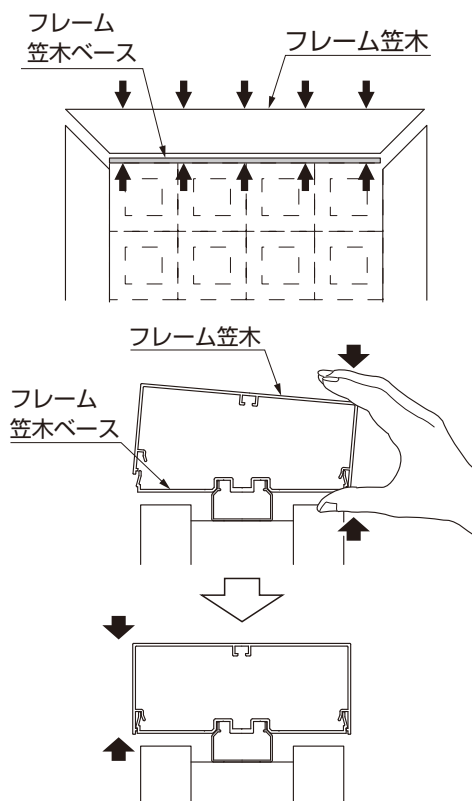


2. (つづき)

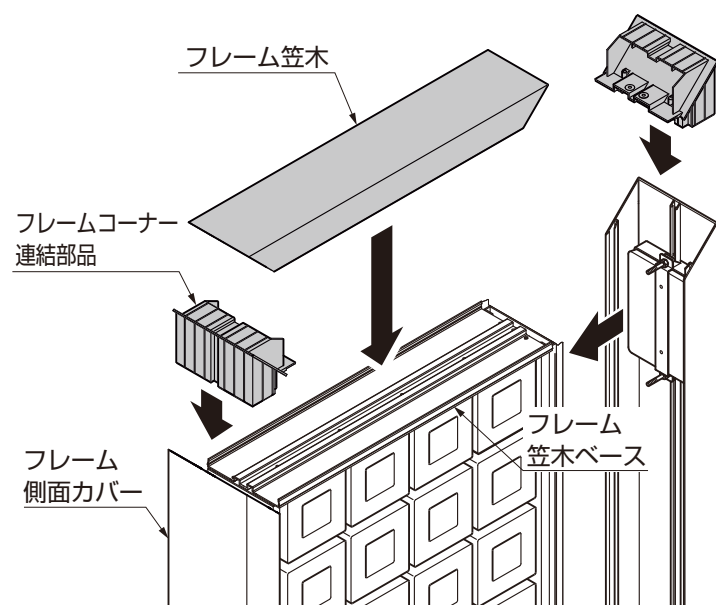
2-2 フレーム笠木の取付け（インターホン無しの場合）



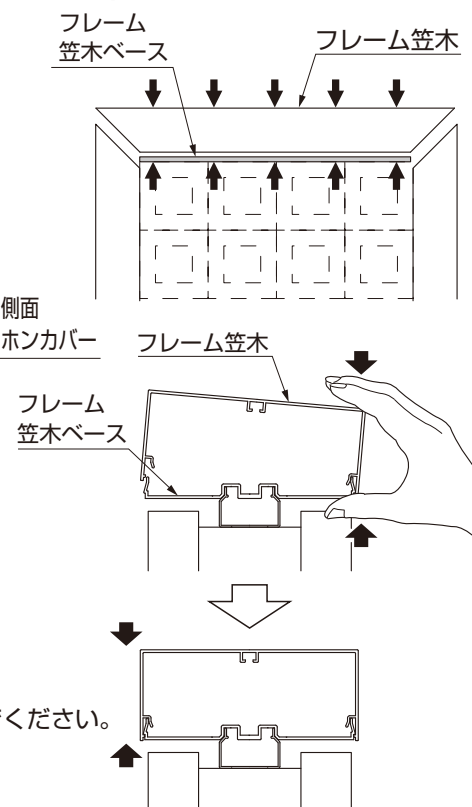
- ① フレームコーナー連結部品をフレーム側面カバーに差込んでください。
- ② フレーム笠木をフレーム笠木ベースにはめ込んでください。



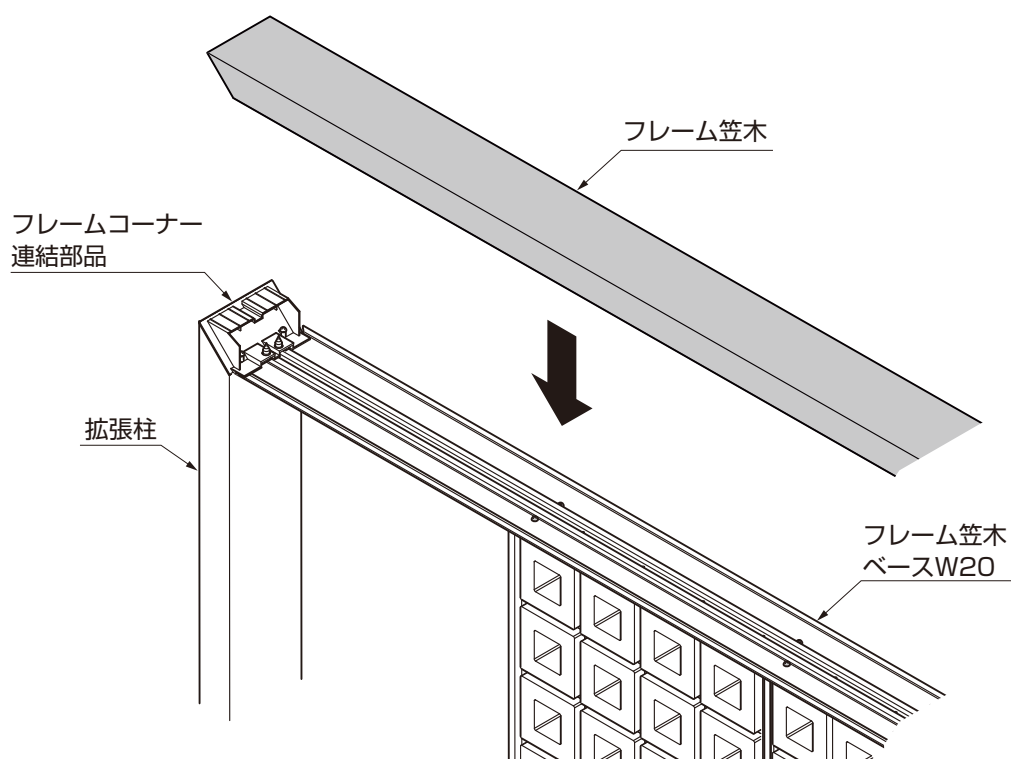
2-3 フレーム笠木の取付け（フレームインターホン仕様の場合）



- ① フレームコーナー連結部品をフレーム側面インターホンカバーに差込んでください。
- ② フレーム笠木をフレーム笠木ベースにはめ込んでください。

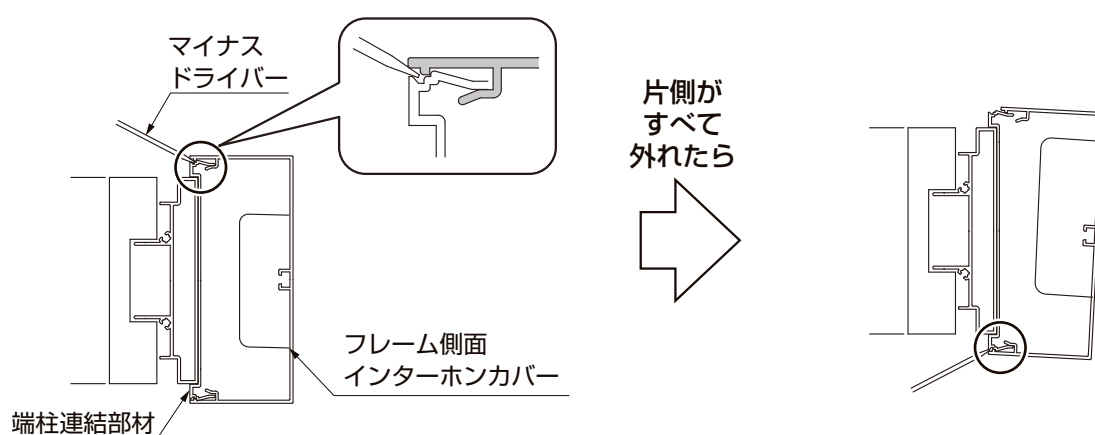


2-4 拡張仕様の場合



① フレーム笠木をフレーム笠木ベースにはめ込んでください。

2-5 フレーム側面インターホンカバーの取外し方 ※インターホンを取付けている場合の作業です。



① フレーム側面インターホンカバーにマイナスドライバーを差込んで表裏を片側ずつゆっくり外してください。

ポイント

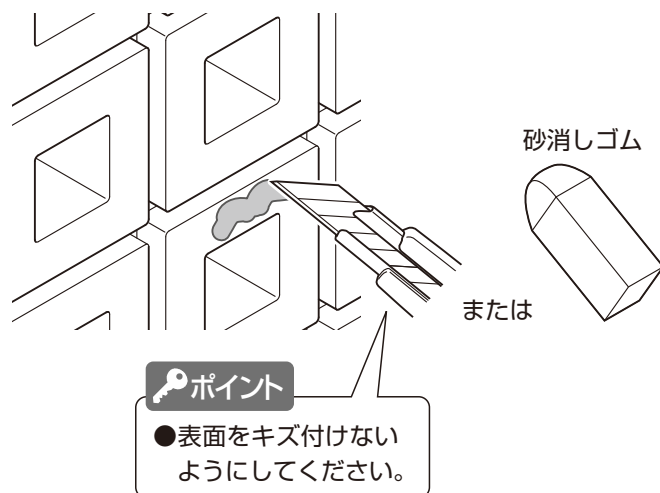
● インターホンのメンテナンスが必要になった場合、フレーム側面インターホンカバーの取外しが必要になります。

6 点検・仕上げ

【表面に付着した接着剤を除去する】

ポイント

- 接着剤の硬化後、仕上りの点検を行なってください。



取れない場合は…

